

対象学科		ホテル・ウェディングビジネス科			
対象学年	1 学年	科目名	PCスキル I	担当名	(株)ブレンスタッフコンサルタンツ
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標		・ビジネスマナーに沿って、正しくメールを作成送信できる ・Wordでビジネス文章を作成できる ・Excelを利用した、表計算や表、グラフの作成ができる ・自身のタイピングスキルを理解し、向上できる（毎回講義内で練習）			
学習内容		滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。			
成績評価の方法と基準		出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする			
履修に当たっての留意点		e-learning(インターネット上のテキスト)とPC、Office2019を使用 ※Office365 ライセンスの使用も可能			

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講座を受講する意義を理解し、IT/DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	e-learning CCT入門コース (IT/DXリテラシー)	授業内容に応じて、自宅学習
2	Teams・OneDriveなどクラウドの特徴を理解し活用できる	e-learning CCT入門コース (PCクラウド活用)	授業内容に応じて、自宅学習
3	ファイルの管理、タイピングなどPCの基本操作ができる	e-learning CCT入門コース (PC基本操作)	授業内容に応じて、自宅学習
4	マナーを守ったメールを作成・送信できる	e-learning特別講義コース (メールマナー)	授業内容に応じて、自宅学習
5	Excelの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learningExcelコース (Excel入門)	授業内容に応じて、自宅学習
6	Wordの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learning Wordコース (Word入門)	授業内容に応じて、自宅学習
7	文書作成ソフトを使って効率的にビジネス文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎1)	授業内容に応じて、自宅学習
8	画像や図形を駆使した、社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎2)	授業内容に応じて、自宅学習
9	表を駆使した社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎3)	授業内容に応じて、自宅学習
10	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	e-learning Excelコース (Excel基礎1)	授業内容に応じて、自宅学習
11	Excelの基本操作をスムーズに行えるよう練習する	e-learning Excelコース (Excel基礎1トレーニング)	授業内容に応じて、自宅学習
12	関数やグラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎2)	授業内容に応じて、自宅学習
13	グラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎3)	授業内容に応じて、自宅学習
14	Excel基礎1,2,3の内容を繰り返し練習して習得する	e-learning 試験対策コース (Excel試験対策)	授業内容に応じて、自宅学習
15	Excel定期試験	e-learning 試験コース (Excel)	総復習をおこない試験に備える

対象学科		ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	PCスキルⅡ		担当名	(株)ブレインスタッフコンサルタンツ
対象学期	後 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数
到達目標		・自身のタイピングスキルを理解し、向上できる ・Excelで関数を使用した計算や、グラフ作成ができる ・生成AIと合わせてCanvaやPowerPointスライドを作成できる ・情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる				
学習内容		滋慶学園グループの企業である(株)ブレインスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。 学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。				
成績評価の方法と基準		出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点		e-learning(インターネット上のテキスト)とPC、Office2021・2024を使用 ※Office365 ライセンスの使用も可能				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	タイピング AIリテラシー	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
2	タイピング Gemini Storybook作成	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
3	タイピング 画像生成AI活用	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
4	タイピング ショート動画作成:生成AIと組み合わせた動画作成	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
5	タイピング Canva作成:好きなものを紹介する	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
6	タイピング PowerPointダイジェスト:基本操作	e-learning PowerPointコース	授業内容に応じて、 自宅学習
7	タイピング PowerPointアドバンス:図解・SmartArtグラフィック	e-learning PowerPointコース	授業内容に応じて、 自宅学習
8	タイピング Excel入門:書式設定・表作成	e-learning Excelコース	授業内容に応じて、 自宅学習
9	タイピング Excelダイジェスト:基本操作	e-learning Excelコース	授業内容に応じて、 自宅学習
10	タイピング データリテラシー	e-learning 特別講義コース	授業内容に応じて、 自宅学習
11	タイピング 情報倫理1:個人情報/モバイル機器/メール編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
12	タイピング 情報倫理2:著作権/ネット編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
13	タイピング 情報倫理3: SNS/クラウド編	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
14	タイピング SNSセキュリティ	e-learning 情報倫理コース	授業内容に応じて、 自宅学習
15	定期試験	e-learning 試験コース	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科		
対象学年	1 学年	ビジネスコミュニケーション	山田みどり
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	4単位 60 時間

到達目標	日本で働くために必要な社会人マナーとヒューマニティをみにつけ、多様な人と協働できる力をみにつける
学習内容	一流ホテルにて多岐にわたるホテル内の接客業務に従事。現在はホテル/専門学校にて教育に携わる。日本で働くために理解しておくべき、おもてなし、社会人マナー、人間関係構築の姿勢や相手に寄り添う心、多文化共生の考え方を学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	教科書、パソコンは毎回持参、課題をパソコンで行います

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	ビジネスコミュニケーションとは:学生と社会人のコミュニティの違い、学生の特徴、社会人の特徴	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.5	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
3,4	異なるコミュニティ:異なるコミュニティとの関わりと上手に付き合う方法	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.7,8	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
5,6	異文化コミュニケーション:見えている世界の違い／見えている世界の理解と共有	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.12-15☑	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
7,8	環境の変化と未来:環境の変化／選択できる未来／外的要因と内的要因変化する仕事／人にしかできない仕事	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.16-27	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
9,10	ビジネスコミュニケーションの基礎:コミュニケーションを変化させる	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.28-38	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
11,12	質問とは:オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.39-38	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
13,14	ビジネス用語/和装英語:事前準備の重要性:ビジネス用語を学び、言葉の意味を理解する	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.49-62	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
15,16	日本文化のマナー／おもてなし文化／言葉の選択:【実践】季節感を取り入れた話し方	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.63-74	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
17,18	ビジネスマナーの必要性:日本の会話の特徴、オノマトペの使い方	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.75-84	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
19,20	実技①:お辞儀／名刺交換	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.85-104	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
21,22	実技②:挨拶と言葉づかい	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.105-111	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
23,24	実技③:席次／電話対応／メール対応	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.112-130	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
25,26	ホスピタントマナー:ホスピタントマナー(ビジネスマナー、ソーシャルマナー、ヒューマンマナー)	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.131-136	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
27,28	ワンランク上の仕事:超高齢化社会の現状/ユニバーサルデザイン/補助犬/国際シンボルマーク/ピクトグラム	ビジネスコミュニケーションの基礎 P.137-145	"授業内容に応じて、自宅学習"☑
29,30	ビジネスコミュニケーション検定	振り返り・試験	"授業内容に応じて、自宅学習"☑

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科						
対象学年	1	学年	科目名	セルフヘア&メイク	担当名	社)全国化粧品販売員検定協会 メンズマナー トルチュリアル	
対象学期	前	期	講義	・ <u>演習</u> ・実技・実習	単位/時間数	2単位	30 時間

到達目標	日本のホテル・ブライダル業界に適した 清潔感・信頼感・文化適応力のあるセルフヘア&メイク習得
学習内容	ヘア&メイクアーティストとして現役で活躍している講師が担当する ホテル業界の就職活動および現場に適した、「清潔感・再現性・スピード」を兼ね備えたセルフ ヘア&メイクの習得する授業を行う メンズはマナー講座も行う
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験または課題点とする
履修に当たっての留意点	チームスにて共有資料・PDF資料など

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	持ち物
1,2	Women's(女性用) 日本の第一印象理解と基礎 ヘア・日本の就活ヘアの基本(清潔・整える) メイク・日本式ナチュラルメイク基礎 (薄く見えて整っている状態)	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ マナー演習 別教室にて オリエンテーション 授業のゴール マナーの必要性和重要性・みだしなみ	オリジナル資料	筆記用具 ノート
3,4	Women's(女性用) ヘアメイク復習	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ就活スタイル①(ホテル業界) ヘア(メンズ)・分け目・ポリウムコントロール メイク(メンズ) ・眉を整える		
5,6	Women's(女性用) シニヨン基礎×ナチュラルメイク ヘア低めシニヨン基本 ・ピン打ち練習 メイク・面接用ナチュラルアイメイク(血色・清潔感)	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ マナー演習 別教室にて 表情と声と活舌 姿勢・挨拶・礼	オリジナル資料	筆記用具 ノート
7,8	Women's(女性用) シニヨン安定×印象コントロール ヘア・シニヨン安定化・毛量・髪質別対応 メイク・優しい印象 ・チーク・リップコントロール	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ マナー演習 別教室にて 歩き方と態度 総復習と習得度チェック・シーン別実践 振り返り課題 30点	オリジナル資料	筆記用具 ノート
9,10	Women's(女性用) ヘアメイク復習	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ就活スタイル②(実践) ヘア復習(メンズ)・制限時間内セット メイク復習(メンズ) ・面接対応の最終仕上げ		
11,12	Women's(女性用) シニヨン×フォーマルメイク ヘア・シニヨン完成度アップ メイク・フォーマル・上品メイク (落ち着き・大人感)	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ マナー演習 別教室にて 来客時の接客・エスコート・名刺交換 接客者の心得と役割	オリジナル資料	筆記用具 ノート
13,14	Women's(女性用) ヘアメイク復習	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ就活スタイル③(完成) ヘア復習(メンズ)・トータルバランス完成 メイク復習(メンズ) ・最終補正(清潔感MAX)・写真・対面チェック		
15	Women's(女性用) 総合実技試験(就活シミュレーション)	PDF資料	ヘアメイク道具・筆記用具
	メンズ マナー演習 別教室にて 総復習と習得度チェック・シーン別実践 振り返り課題 30点	オリジナル資料	筆記用具 ノート

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	日本語会話演習 I	担当名	ヒューマンアカデミー(株)
対象学期	前 期		講義 (演習)・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	日本での生活や仕事をする事ができる日本語のコミュニケーション力を培う
学習内容	日本での生活や仕事に必要な日本語運用力を養うため、日常場面や職場での基本的なやり取りを学ぶ。聞く・話す・読む・書く技能を総合的に伸ばし、ロールプレイやタスク活動を通して実践的なコミュニケーション力を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト2冊を毎回持参/JLPTの文字・語彙、文法、読解は予習を必要とする

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【JLPT対策】文字・語彙(第1回) 文法(第1回) 【会話】第2章 1. 訪問する	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
2	【JLPT対策】文字・語彙(第1回) 文法(第1回) 【会話】第2章 1. 訪問する	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
3	【JLPT対策】読解(第1回) 聴解(第1回) 【会話】第2章 2. 簡単に挨拶する	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
4	【JLPT対策】読解(第1回) 聴解(第1回) 【会話】第2章 2. 簡単に挨拶する	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
5	【JLPT対策】文字・語彙(第2回) 文法(第2回) 【会話】第2章 3. 誘う	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
6	【JLPT対策】文字・語彙(第2回) 文法(第2回) 【会話】第2章 3. 誘う	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
7	【JLPT対策】読解(第2回) 聴解(第2回) 【会話】第2章 4. お願いする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
8	【JLPT対策】読解(第2回) 聴解(第2回) 【会話】第2章 4. お願いする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
9	【JLPT対策】文字・語彙(第3回) 文法(第3回) 【会話】第2章 5. 断る	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
10	【JLPT対策】文字・語彙(第3回) 文法(第3回) 【会話】第2章 5. 断る	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
11	【JLPT対策】読解(第3回) 聴解(第3回) 【会話】第2章 6. 申し出る	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
12	【JLPT対策】読解(第3回) 聴解(第3回) 【会話】第2章 6. 申し出る	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
13	【JLPT対策】文字・語彙(第4回) 文法(第4回) 【会話】第2章 7. おわびする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
14	【JLPT対策】文字・語彙(第4回) 文法(第4回) 【会話】第2章 7. おわびする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	日本語会話演習 I	担当名	ヒューマンアカデミー(株)
対象学期	後 期		講義 演習・実技・実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	日本での生活や仕事をする事ができる日本語のコミュニケーション力を培う
学習内容	日本での生活や仕事に必要な日本語運用力を養うため、日常場面や職場での基本的なやり取りを学ぶ。聞く・話す・読む・書く技能を総合的に伸ばし、ロールプレイやタスク活動を通して実践的なコミュニケーション力を身につける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト2冊を毎回持参/JLPTの文字・語彙、文法、読解は予習を必要とする

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【JLPT対策】読解(第4回) 聴解(第4回) 【会話】第2章 8. 意見を言う	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
2	【JLPT対策】読解(第4回) 聴解(第4回) 【会話】第2章 8. 意見を言う	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
3	【JLPT対策】文字・語彙(第5回) 文法(第5回) 【会話】第2章 9. 予約を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
4	【JLPT対策】文字・語彙(第5回) 文法(第5回) 【会話】第2章 9. 予約を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
5	【JLPT対策】読解(第5回) 聴解(第5回) 【会話】第2章 10. サービスの敬語	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
6	【JLPT対策】読解(第5回) 聴解(第5回) 【会話】第2章 10. サービスの敬語	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
7	【JLPT対策】文字・語彙(第6回) 文法(第6回) 【会話】第2章 11. 相談を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
8	【JLPT対策】文字・語彙(第6回) 文法(第6回) 【会話】第2章 11. 相談を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
9	【JLPT対策】読解(第6回) 聴解(第6回) 【会話】第2章 12. スピーチをする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
10	【JLPT対策】読解(第6回) 聴解(第6回) 【会話】第2章 12. スピーチをする	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
11	【JLPT対策】文字・語彙(第7回) 文法(第7回) 【会話】第2章 13. 面接を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
12	【JLPT対策】文字・語彙(第7回) 文法(第7回) 【会話】第2章 13. 面接を受ける	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
13	【JLPT対策】読解(第7回) 聴解(第7回) 【会話】第2章 14. 電話の敬語	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
14	【JLPT対策】読解(第7回) 聴解(第7回) 【会話】第2章 14. 電話の敬語	【テキスト】ドリル&ドリル日本語能力試験N3基礎力アップ 【テキスト】新にほんご敬語トレーニング	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	英会話演習 I	担当名	ILC
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝達する・相手が言っていることを理解する、などの基本的な英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する				
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信をもって対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくること。 また、授業後復習をし、より確実に身に着けることが望ましい				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	■コース紹介&ウォーミングアップゲーム Warming Up Game ■Can talk about travel 旅行について話すことが出来る ■Can discuss tours ツアーについて議論することが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit1	
3,4	■Warming Up Game ■Can talk about jobs 仕事について話すことが出来る ■Can deal with check in at the airport 空港でチェックイン対応が出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit2&3-A	
5,6	■Warming Up Game ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit3-B&4	課題対応/Task:Prepared by ILC
7,8	■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応ができる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit5&6-A	
9,10	■Warming Up Game ■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファーストフードについて話すことが出来る	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit6-B&7	
11,12	■Warming Up Game ■Can explain sightseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assists guests with souvenir shoppng お客様が購入するときにサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit8&9	
13,14	■Warming Up Game ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様にサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit10	
15	Final Test 定期試験		Test Prepared by ILC

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科	
対象学年	1 学年	科目名
対象学期	後 期	英会話演習Ⅱ
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		ILC
		単位/時間数
		2単位 30 時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝達する・相手が言っていることを理解する、などの基本的な英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する	
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信をもって対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う	
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする	
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。 また、授業後復習をし、より確実に身に着けることが望ましい	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	■Warming Up Game ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit11	
3,4	■Warming Up Game ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan1 &3, 4 &5	
5,6	■Warming Up Game ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	
7,8	■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	
9,10	■Warming Up Game ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	
11,12	■Warming Up Game ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	
13,14	■Review of course materials- consolidation through role play これまで学習した内容の復習ーロールプレイを通して理解を強化	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	
15	Final Test 定期試験		Test Prepared by ILC

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	ホテル宿泊客室実習	担当名	岡覚子/澤木海里
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	・ホテルの宿泊部門やホテルの働き方を理解できる ・お客様としてのホテルサービスの魅力を理解する。
学習内容	実際のホテルの客室で宿泊サービス演習授業を行い、宿泊部門やホテルの働き方を学ぶ。 ホテルサービスの魅力を感じることができる。 ハウスキーピングなどの宿泊部門の仕事について学ぶ。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S — 合格 U — 不合格 事前・事後レポート作成を必須とする
履修に当たっての留意点	全てのスタッフに対して感謝の気持ちを持って接しましょう。 常に挨拶を心がけること。 研修時は「うなずき」「あいづち」「アイコンタクト」を忘れずに！ 今回訪問するホテルのことをホームページなどで調べて最低限の知識を持っていけるようにしましょう！

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・ホテルに実際に宿泊し、実際のサービスを体験し、宿泊者視点でホテルサービスについて学び、考える。 ・ホテルに対して、宿泊者の視点を踏まえてサービスの提案を考える。 ・ハウスキーピングなどを実際の宿泊体験で考察する。	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科		
対象学年	1 学年	科目名	ホテルウェディング
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名	廣瀬 祐子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に携わるホテルスタッフとして、他部署やパートナー企業との役割や連携の重要性を理解し、他施設にはないホテルウェディングの魅力を知る																					
学習内容	ホテル、ゲストハウス、プロデュース会社にて勤務経験のある講師が、ホテルで実際に経験した内容を交えながら、他部署との上手な関わり方やホテルウェディングにしかない魅力をグループワークを通して学べる授業を実施。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点　合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4. 0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3. 0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2. 0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1. 0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>出席不良</td><td></td></tr><tr><td>F</td><td>0. 0</td><td>59点以下（不合格）</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4. 0	90点～100点	B	3. 0	80点～89点	C	2. 0	70点～79点	D	1. 0	60点～69点	E	出席不良		F	0. 0	59点以下（不合格）
評価	GPA	合計点数																				
A	4. 0	90点～100点																				
B	3. 0	80点～89点																				
C	2. 0	70点～79点																				
D	1. 0	60点～69点																				
E	出席不良																					
F	0. 0	59点以下（不合格）																				
履修に当たっての留意点	筆記用具は毎回持参してください。																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容（予定）	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・ホテルウェディングを学ぶ目的	筆記用具	
2	ホテルウェディングの歴史・特徴	PC	
3	ホテルにある部署・役割とパートナー企業		
4	ホテルウェディングに必要な専門知識・ホテル用語		
5	ホテルウェディングを求める新郎新婦像		
6	ホテルスタッフに必要な資質（グループディスカッション）		
7	ホテルスタッフに必要な資質（発表）		
8	ホテルウェディングの準備フロー・他施設との違い		
9	ホテルウェディングの業務①（プランナー新規接客解説）		
10	ホテルウェディングの業務②（新規接客練習）		
11	ホテルウェディングの業務③（新規接客ロールプレイング発表）		
12	ホテルウェディングの業務④（初回打合せ～最終打合せ解説）		
13	ホテルウェディングの業務⑤（結婚式本番施行解説）		
14	ホテルウェディングの魅力・まとめ		
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	ブライダルホテルマーケティング	担当名	長谷川円香
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界のマーケティングの基礎知識を得ることで効果的な集客に対する適切な広報活動方法を身に着ける。サービスの魅力をお客様向けに表現することを目標とする
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手掛ける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何もわからなくても受講可能な入門中の入門編。楽しく学ぶマーケティングの基礎
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ート、筆記用具を持参すること(はさみ・のりなどを使用する場合は事前に告知) スマートフォンまたはタブレットPCを準備して情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P/4C】	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナを知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	共感を呼ぶコンテンツ作り	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	PDCA体験や人の心理を知るワーク	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	集客作成①マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	集客作成②マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客作成③マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客作成④マーケティングを活かしてブライダル 広報記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科	
対象学年	2 学年	科目名
対象学期	後 期	講義 ・ <u>演習</u> 実技 ・ 実習
	担当名	長谷川円香
	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	近年、企業が最も力を入れていきたい！と考えているSNS戦略。商品やサービスが売れる仕組みを知り、SNSを効果的に表現できる方法を身に着けることを目標とする
学習内容	婚礼プロデュース会社15年勤務・フリープランナー経験8年・フリーMC15年。会社経営者。行政・企業のSNS運用・イベント集客なども手掛ける講師が、マーケティングの基本中の基本について具体的に演習を行う。基礎知識が何かわからなくても受講可能な入門中の入門。SNSの特性や違いを知る。インスタグラム運用に特化
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること(はさみ・のりなどを使用する場合は事前に告知) スマートフォンまたはタブレットPCを準備して情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 講座の流れ・到達目標の共有・自己分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
2	魅力的な自分自身のプロフィールを作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	動画編集アプリを使って投稿記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	動画編集アプリを使って投稿記事を作ってみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	ペルソナ設定・ペルソナの悩みとは・共感を呼ぶコンテンツ作り	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	SNSの入門編/OKなことNGなことを知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	目的別リール作成(ステップ型・問題解決型・メリット型)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	目標設定・運用プラン作成(ペルソナ設定)	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	学校インスタグラムの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	学校インスタグラムの記事作成	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	学校インスタグラムの記事作成とインサイト研究	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科		
対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネス I
対象学期	前 期	講義	演習・実技・実習
		担当名	一般社団法人IMSA
		単位/時間数	2単位 30時間

到達目標	学生がホテルビジネスの基礎知識と主要部門(宿泊・料飲・宴会・調理)の概要と関連業務を理解し、現場での基本的実務理解と業界全体像を描けるようにする。
学習内容	一流のホテル、レストランでサービス歴、指導歴が豊富で、受賞歴も多数ある講師が担当する。本授業では、ホテルビジネスの全体像を理解するとともに、宿泊・料飲・宴会・調理の各部門における基礎的な業務内容と役割を体系的に学習する。 ホテル産業の成り立ちや機能、各部門の業務フロー、部門間の連携について理解し、現場で求められる基本的な実務知識とホスピタリティの考え方を身につけることを目的とする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

日付	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション／ホテル業界概論	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
2	ホテルの歴史とホテル産業の発展	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
3	宿泊部門の業務理解①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
4	宿泊部門の業務理解②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
5	料飲部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
6	料飲部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
7	宴会部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
8	宴会部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
9	調理部門の業務①	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
10	調理部門の業務②	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
11	部門間連携とホテル全体オペレーション	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
12	品質管理・お客様満足度／クレーム対応	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
13	総合演習(模擬オペレーション／グループ発表)	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
14	振り返り／総合評価	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	授業内容に応じて、自宅学習
15	課題まとめレポート提出 13回目	一般財団法人 日本ホテル教育センターの「ホテルビジネス基礎編」	自宅学習

対象学科	総合ウェディング科				
対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネスⅡ	担当名	丸毛 浩一
対象学期	前 期			単位/時間数	2単位 30 時間
		講義	・ 演習 ・	実技	実習

到達目標	ホテル全般に於ける知識を学習し、ホテルビジネス実務検定を取得する事に依り、ホテル研修や就職した際に業務における円滑なコミュニケーションと基本業務が行え、ホテルエとしてのプロフェッショナルな人材を育成する。
学習内容	ホテル業界で長きにわたり、担当支配人、総支配人及び本部経験の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へホテル実務全般基礎知識の習得と検定取得を自信を持って行える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 授業概要の理解 第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
2	第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
3	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識 第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
4	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
5	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
6	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
7	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 701選	当該授業の反復学習
8	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
9	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
10	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
11	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要 調理部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
12	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
13	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
14	ホテルビジネス基礎編 過去問題200問実践②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	2 学年	科目名	ソムリエ・バーテンダー		担当名 唐橋 誠治
対象学期	後 期		講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習
			単位/時間数	2単位	30 時間
到達目標	『ワイン・バーサービス・料飲の知識 カクテルを学ぶ』ワインの最低限の産地とブドウ品種を知る。バーテンダーの基本動作、シェイクとステアが出来るようになる。オーソドックスなカクテル名とレシピを知り、料飲知識(テーブルマナーや大人の教養を身に着ける)				
学習内容	JSAソムリエ・HBAビバレッジアドバイザーの資格を有し、一流ホテル当でのレストラン責任者の経験を有する講師が担当。座学と実技にてお酒全般の知識を身に着ける。1コマ目の座学で知識を知り、2コマ目に実際に触れる、体験する、やってみる、創作することをして学習します。				
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする				
履修に当たっての留意点	飲材の仕入状況により、実技内容が変更することもあります。				

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【座学】ワインの製造方法を知る。各ボトルの説明 ワインの産地(旧世界)(ニューワールド) 【実技】ワイン抜栓、ソムリエナイフの使い方、デカンタージュ	デキャンター、ソムリエナイフ	
2	【座学】ワインのクイズプリント ブドウ品種とワイン用語 【実技】ミネラルウォーターの飲み比べ (ワインテイasting方法を水で習得する)	クリスタルカイザー・エビアン・ コントレックス	
3	【座学】カクテルのクイズプリント 有名カクテル名を知る 【実技】赤ワイン抜栓とホットワインづくり(ヴァンショールージュ)	赤ワイン・グラニュー糖	
4	【座学】ミニテスト ①(赤ワイン・白ワイン・スパークリング・ワイン全般の問題) 【実技】スクイザーを使用したフレッシュレモンスカッシュを作る	レモン・グラニュー糖・炭酸水 (ミキシンググラスで造る)	
5	【座学】②日本酒の起源、精米歩合、酒造好適米、日本三大酒 処 【実技】たまごと牛乳とガムシロを使用したカクテル	ミルクセーキ (シェイカー)	
6	【座学】③ウイスキーの起源、5大ウイスキー産地、バーボンとは 【実技】ノンアルコールカクテルシンデレラ作り	シンデレラ(シェイカー) (フレッシュカットパイン、フレッシュオレンジ、フレッシュレモン使用)	
7	【座学】④お茶とお水の問題について 【実技】ハンドブレンダー	フレッシュイチゴとドールのフレッシュマンゴスムージーカクテル	
8	【座学】⑤ビールについて 【実技】包丁のカットを学ぶ	パイナップルカット (テーブルで1個)	
9	【座学】⑥紅茶について 【実技】メキシコのバー料理、シーザーサラダ	シーザーサラダ	
10	【座学】⑦コーヒーについて 【実技】ハードシェイク、ホットカクテル作り	抹茶ラテ・紅茶ラテ・チョコバナナ	
11	【座学】⑧料飲全般の問題 【実技】りんごのカービング	りんごのカッティング	
12	【座学】世界一のサービスマンに学ぶ(VTR) 【実技】フルーツポンチ	フルーツポンチ	
13	【座学】クリームについて学ぶ(VTR) 【実技】オレンジカット・キウイカット	オレンジカット・キウイカット	
14	【座学】定期試験対策 【実技】自家製ジンジャーエール ピンクグレープフルーツモヒート	自家製ジンジャーエール ピンクグレープフルーツモヒート	
15	定期試験(座学で行った内容ベース)	自家製ジンジャーエールの試飲	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	パーソナルカラー	担当名	岡永めぐみ
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界においてどの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に実際の現場においても活用できる「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身に着けることが出来る基礎知識を身に着ける
学習内容	色彩におけるありとあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行って講師が色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識と共にパーソナルカラー検定の資格取得をする
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.7p.9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.14
5	5つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	1週刊ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.19
8	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.25
9	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.26
10	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	試験の復習
11	対比、反射の影響を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	授業で終わらなかったプリント
12	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.30.31
13	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	問題集p.11
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキストカラーカード199aのり、はさみ、筆記用具	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科	
対象学年	1 学年	科目名
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		松浦麻子
		単位/時間数
		2単位 60 時間

到達目標	ブーケ、ヘアドレス等作成の実技を通し得る知識を自分の専門分野に活用できる。各ブーケスタイルの特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応等を説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。☑
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。各専門分野に役立つ着眼点で、花材、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。☑
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は実技試験とする
履修に当たっての留意点	生花を使う場合は水揚げ作業あり/毎回の授業に振り返り有り/作成物毎回持帰り☑

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	授業オリエンテーション【生花のクラッチブーケ:縦長】 取扱いと作り方説明 <u>ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3,4	【生花のクラッチブーケ:丸形】 現場取扱いと水揚げ説明 <u>水揚げ・ブーケ・ヘアード作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5,6	【生花の花冠】 注意点説明 <u>花冠作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7,8	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 ブーケホルダー使用 取扱説明 <u>ブーケ(ブートニア)作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9,10	【生花のラウンドブーケ】ブーケホルダー使用 生花、造花、ドライ比較解説 <u>ブーケ(ブートニア)作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11,12	【生花のティアドロップブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>水揚げ・作成・リボン取付</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13,14	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 ホルダー等のメリットデメリット解説 <u>作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15,16	【生花のキャスケードブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>水揚げ・ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
17,18	【アーティフィシャルフラワー、生花のブートニア】 作り方説明 <u>生花水揚げ・ブートニア作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
19,20	【生花のボールブーケ】 作り方、注意点説明 <u>水揚げ・デザイン・ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
21,22	【生花のバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 <u>ブーケ作成</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
23,24	【生花とリボンのブーケ】ブーケホルダー使用 作り方説明 <u>ブーケ作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
25,26	【生花のリングブーケ】 作り方説明 <u>ブーケデザイン・作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
27,28	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 <u>ブーケデザイン・作成・感想発表</u>	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
29,30	定期試験:実技	持ち帰り用袋	なし

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科		
対象学年	1 学年	科目名	宿泊・観光業の基礎知識 I
対象学期	前 期		講義・演習・実技・実習
		担当名	杉本 裕
		単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	日本の旅館、ホテルの特徴を学び、日本特有の「おもてなし文化」を理解し、日本企業で働くうえで必要な知識とマナーを身につける。
学習内容	日本有数のホテル企業で宿泊・観光に携わり、現在はホスピタリティ分野の社団法人の理事長を務める講師が担当する。観光業の推移と変化、また日本の宿泊業の特徴と日本のおもてなしを理解し、文化や習慣の違う海外からのお客様をおもてなしする知識を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	日本の観光ビジネス概要①	旅館ホテル・観光の教科書	
3,4	日本の観光ビジネス概要②	旅館ホテル・観光の教科書	
5,6	日本の観光ビジネス概要③	旅館ホテル・観光の教科書	
7,8	日本の観光ビジネス概要④	旅館ホテル・観光の教科書	
9,10	宿泊施設の特徴①	旅館ホテル・観光の教科書	
11,12	宿泊施設の特徴②	旅館ホテル・観光の教科書	
13,14	宿泊施設の特徴③	旅館ホテル・観光の教科書	
15,16	宿泊施設の特徴分析	旅館ホテル・観光の教科書	
17,18	スタッフと文化(プロトコールと日本文化)	旅館ホテル・観光の教科書	
19,20	宗教と文化の理解(訪日外国人旅行者への配慮)	旅館ホテル・観光の教科書	
21,22	グレードに合わせた接客(接遇のマナー)①	旅館ホテル・観光の教科書	
23,24	グレードに合わせた接客(接遇のマナー)②	旅館ホテル・観光の教科書	
25,26	おもてなしの実現①	旅館ホテル・観光の教科書	
27,28	おもてなしの実現②	旅館ホテル・観光の教科書	
29,30	振り返り、期末テスト	旅館ホテル・観光の教科書	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	宿泊・観光業の基礎知識 I	担当名	杉本 裕
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	日本の旅館、ホテルの特徴を学び、日本特有の「おもてなし文化」を理解し、日本企業で働くうえで必要な知識とマナーを身につける。																					
学習内容	日本有数のホテル企業で宿泊・観光に携わり、現在はホスピタリティ分野の社団法人の理事長を務める講師が担当する。観光業の推移と変化、また日本の宿泊業の特徴と日本のおもてなしを理解し、文化や習慣の違う海外からのお客様をおもてなしする知識を学ぶ。																					
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>－ 4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>－ 3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>－ 2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>－ 1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td>－</td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>－ 0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	－ 4.0	90点～100点	B	－ 3.0	80点～89点	C	－ 2.0	70点～79点	D	－ 1.0	60点～69点	E	－	出席不良	F	－ 0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	－ 4.0	90点～100点																				
B	－ 3.0	80点～89点																				
C	－ 2.0	70点～79点																				
D	－ 1.0	60点～69点																				
E	－	出席不良																				
F	－ 0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点																						

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	プレゼンテーション(歓迎の心を表現)①	旅館ホテル・観光の教科書	
3,4	プレゼンテーション(歓迎の心を表現)②	旅館ホテル・観光の教科書	
5,6	お客様の安全を守る(安全・衛生・環境管理)	旅館ホテル・観光の教科書	
7,8	苦情(クレームとコンプレイン)	旅館ホテル・観光の教科書	
9,10	トラブル対応(カスハラと防止策)	旅館ホテル・観光の教科書	
11,12	日本文化①(和室の立ち居振る舞い)	旅館ホテル・観光の教科書	
13,14	日本文化②(年中行事 ハレとケ)	旅館ホテル・観光の教科書	
15	振り返り テスト対策授業	旅館ホテル・観光の教科書	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科	
対象学年	1 学年	科目名
対象学期	前 期	料飲サービス演習Ⅰ
		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習
		担当名
		吉岡 雄一
		単位/時間数
		4単位 60 時間

到達目標	レストラン全般の知識を得る。実際のレストラン業務と知識・技術を理解し、お客様へ適切なサービスが出来るようにする。
学習内容	通算26年間ホテルにて、バンケット・レストランでサービス経験を積み、国家検定「レストランサービス技能士1級」、「西洋料理食卓作法マスター講師」の資格を持ち、同資格の実技審査委員の経験あり。ホテル・レストランで必要な心構えやホスピタリティの精神、接客スキルの向上、専門的な知識と技術の基礎を取得する授業を行うなかで、日本のおもてなしを学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト/料飲サービスの教科書及び資料配布/毎回の授業に振り返りあり

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	自己紹介/オリエンテーション/授業内容の通知 【レストランの種類と組織その業務業務】	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
3,4	【外食業・飲食業で働く人の基本マナー】 (身だしなみ・お辞儀・言葉遣い・電話応対・歩き方)	テキスト	授業内容に応じて、 自宅学習
5,6	【接客サービスの特性】 顧客満足度(CS)、様々なお客様の対応方法、笑顔の必要性	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
7,8	【レストランサービスに必要な技術 1】 トレーの扱い方	トレー・グラス・カトラリーセット	
9,10	【料理1】 各種料理の特徴、食材と調理方法、ソース、デザート	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
11,12	【サービススタッフの基本知識】 什器備品・サービス方法・各料理のサービス方法	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
13,14	【レストランサービスに必要な技術 2】 サーバーとナプキンの扱い方	サーバー・ナプキン	
15,16	国際儀礼・身体にハンディキャップがあるゲストの理解と対応 遺失物の対応と補助犬について	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
17,18	【飲料2】 酒類全般、カクテル、コーヒー・紅茶・日本茶・ミネラルウォーター	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
19,20	【レストランサービスに必要な技術 4】 飲料のサービス方法(ボトルサービス)	ボトル・グラス・ウォーターピッチャー	
21,22	店舗の組織と役割、オープncローズ業務、会計業務	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
23,24	【レストランサービスに必要な技術 5】 料理サービス(プレートサービス・チャーリンサービス)	各種プレート・スープチャーリン	
25,26	テーブルマナーの知識 フランス料理・中国料理・日本料理	テキストと配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
27,28	日本の特徴と年中行事・和室のマナー お箸の持ち方・タブー	配布資料	授業内容に応じて、 自宅学習
29,30	定期試験	筆記試験	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科	
対象学年	1 学年	科目名
対象学期	後 期	料飲サービス演習 I
		講義 演習・実技・実習
		担当名
		吉岡 雄一
		単位/時間数
		4単位 60 時間

到達目標	レストラン全般の知識を得る。実際のレストラン業務と知識・技術を理解し、お客様へ適切なサービスが出来るようにする。
学習内容	通算26年間ホテルにて、バンケット・レストランでサービス経験を積み、国家検定「レストランサービス技能士1級」、「西洋料理食卓作法マスター講師」の資格を持ち、同資格の実技審査委員の経験あり。ホテル・レストランに必要な心構えやホスピタリティの精神、接客スキルの向上、専門的な知識と技術の基礎を取得する授業を行うなかで、日本のおもてなしを学ぶ
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト/料飲サービスの教科書及び資料配布/毎回の授業に振り返りあり

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1,2	テーブルセッティング	カトラリー一式・グラス各種	
3,4	テーブルマナー(和・洋・中)		授業内容に応じて、自宅学習
5,6	お出迎え・席への案内・着席補助・オーダーテイク	カトラリー一式・グラス各種 メニュー・オーダー伝票	
7,8	国際儀礼(プロトコル)・席順(上座と下座) レストランクロック対応		授業内容に応じて、自宅学習
9,10	オーダーテイク(サジェスション)・ドリンクサービス	カトラリー一式・グラス各種 メニュー・オーダー伝票	
11,12	施設と労働基準、食品衛生(食中毒)、宗教的タブー・アレルギー		授業内容に応じて、自宅学習
13,14	料理の進行と提供・下げ方	カトラリー一式・グラス各種 プレート類	
15,16	身体にハンディキャップがあるゲスト対応 ブレックファーストとランチのサービス	カトラリー一式・グラス各種 プレート類・各種アイテム	
17,18	ディナーのサービス(少人数と大人数)		授業内容に応じて、自宅学習
19,20	カフェレストランのサービス	カトラリー一式・グラス各種 プレート類・各種アイテム	
21,22	予約対応・お出迎え・席への案内・着席補助	カトラリー一式・グラス各種 プレート類・各種アイテム	
23,24	オーダーテイク・FBサービス・会計・お見送り	カトラリー一式・グラス各種 プレート類・各種アイテム	
25,26	実技試験課題発表		
27,28	試験対策	カトラリー一式・グラス各種 プレート類・各種アイテム	授業内容に応じて、自宅学習
29,30	定期試験	実技必要器材	

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科					
対象学年	1 学年	科目名	宿泊サービス演習		担当名	杉本 裕
対象学期	後 期		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊部門の基礎知識及び基本スキルを身に付け、ホテルマンとして宿泊サービス演習が系統だてて行える実務能力を発揮する事が出来る。																					
学習内容	日本有数のホテル企業で宿泊・観光に携わり、現在はホスピタリティ分野の社団法人の理事長を務める講師が担当する。学生一人一人へ宿泊部門の実務を自信を持ってモチベーションを高め実演できる授業を実施する。																					
成績評価の方法と基準	山内点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table><tr><td>評価</td><td>GPA</td><td>合計点数</td></tr><tr><td>A</td><td>4.0</td><td>90点～100点</td></tr><tr><td>B</td><td>3.0</td><td>80点～89点</td></tr><tr><td>C</td><td>2.0</td><td>70点～79点</td></tr><tr><td>D</td><td>1.0</td><td>60点～69点</td></tr><tr><td>E</td><td></td><td>出席不良</td></tr><tr><td>F</td><td>0.0</td><td>59点以下(不合格)</td></tr></table> ※定期試験は筆記試験とする	評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点～100点	B	3.0	80点～89点	C	2.0	70点～79点	D	1.0	60点～69点	E		出席不良	F	0.0	59点以下(不合格)
評価	GPA	合計点数																				
A	4.0	90点～100点																				
B	3.0	80点～89点																				
C	2.0	70点～79点																				
D	1.0	60点～69点																				
E		出席不良																				
F	0.0	59点以下(不合格)																				
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参 実技実習に備え毎週スーツ(制服)着用及びメモ帳(小型)、ノック式ボールペン及びP																					

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	本授業概要を理解する 宿泊部門の基本姿勢を実践、理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
2	ホテルと宿泊部門の使命と役割及び業務の流れを理解する 組織及びスタッフに求められる資質・能力について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
3	ロビー・サービス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
4	ロビー・サービス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
5	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う I (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
6	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う II (ベルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
7	フロントオフィス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
8	フロントオフィス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
9	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う I (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
10	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う II (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
11	ハウスキーピング業務について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
12	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
13	ロビーサービス～フロントサービス業務の実践を行う II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
14	宿泊サービス前期授業を復習し、理解を深める	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編) PPTテキスト	当該授業の反復学習
15	定期試験		

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	特定技能ビザ対策講座Ⅰ-1	担当名	前田 久美子
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊業務に必要な接客・予約・清掃・安全管理の基礎を理解し、実践できる力を習得する。多様なゲストに対して、状況に応じた対応ができるようになる。特定技能(宿泊分野)試験に合格できる知識と技能をマスターし、現場で即戦力として働けるようになる
学習内容	多数ホテル・婚礼・レストラン人材マネージャー9年の実績、数百人の面接・研修を行う。接遇助手士ホスピタリティ講師やアジアみらい文化交流協会推進委員として指導。沖縄返還50周年記念式典アメリカ大使の接遇。大使館での国際交流支援。宿泊業の習熟と合格を得る
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業で配布したテストやプリントは必ず持参。正しい答えを暗記、自宅で復習する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	宿泊業とは/ホテルの仕事/オリエンテーション	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
2	宿泊業務の基本/フロント業務①(チェックイン)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
3	宿泊業務の基本/フロント業務②(チェックアウト)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
4	宿泊業務の基本/予約管理・電話対応	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
5	宿泊業務の基本/客室案内・館内説明	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
6	接客・コミュニケーション/敬語・あいさつ・言葉遣い	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
7	接客・コミュニケーション/外国人対応・多文化理解	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
8	接客・コミュニケーション/クレーム対応①(基本)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
9	接客・コミュニケーション/クレーム対応②(ケース別)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
10	接客・コミュニケーション/安全管理・緊急時の対応	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
11	宿泊業務の実務/客室清掃①(付随業務)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
12	宿泊業務の実務/客室清掃②(チェックポイント)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
13	宿泊業務の実務/館内設備・備品管理	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
14	宿泊業務の基本/レストランサービス(配膳・下膳)	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
15	定期試験	講師作成プリント・小テスト	総復習

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	特定技能ビザ対策講座Ⅰ-2	担当名	前田 久美子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	宿泊業務に必要な接客・予約・清掃・安全管理の基礎を理解し、実践できる力を習得する。多様なゲストに対して、状況に応じた対応ができるようになる。特定技能(宿泊分野)試験に合格できる知識と技能をマスターし、現場で即戦力として働けるようになる
学習内容	多数ホテル・婚礼・レストラン人材マネージャー9年の実績、数百人の面接・研修を行う。接遇助手士ホスピタリティ講師やアジアみらい文化交流協会推進委員として指導。沖縄返還50周年記念式典アメリカ大使の接遇。大使館での国際交流支援。宿泊業の習熟と合格を得る
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業で配布したテストやプリントは必ず持参。正しい答えを暗記、自宅で復習する

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	宿泊業の専門知識/宿泊法令・旅館業法	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
2	宿泊業の専門知識/個人情報保護・セキュリティ	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
3	宿泊業の専門知識/予約サイト(OTA)・料金管理	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
4	宿泊業の専門知識/インバウンド対応・文化理解	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
5	宿泊業の専門知識/SNS・広報・口コミ対応	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
6	実務スキルの応用/チェックイン実技練習	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
7	実務スキルの応用/チェックアウト実技練習	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
8	実務スキルの応用/電話対応ロールプレイ	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
9	実務スキルの応用/クレーム対応ロールプレイ	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
10	実務スキルの応用/レストランサービス実技	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
11	総まとめ/宿泊業務の総復習①	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
12	総まとめ/宿泊業務の総復習②	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
13	総まとめ/ロールプレイ総合練習	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
14	総まとめ/筆記総合問題練習	講師作成プリント・小テスト	次回までに自宅で復習
15	定期試験	講師作成プリント・小テスト	総復習(全暗記)

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科									
対象学年	1 学年		科目名	導入研修			担当名	澤木海里/岡寛子		
対象学期	前 期			講義	演習	実技 ・ 実習	単位/時間数	1単位	15	時間

到達目標	・目指す将来像を明確にする。 ・学生生活や実習活動、就職活動を円滑にスタートさせ、学校での学びを理解する。 ・相互支援的環境をつくる。
学習内容	これからの学習について理解を深めるため、体験型の授業を中心にウェディング分野の学びの楽しさや重要性を理解する。また、興味のある授業を見つけ、選択科目を選ぶヒントにできる。
成績評価の方法と基準	70%以上の出席率と提出物でSU評価(合格・不合格)で成績を算出する 評価 S - 合格 U - 不合格
履修に当たっての留意点	事前にインフォメーションをおこなう。

授業回数別教育内容

授業内容(予定)	学習の準備など
集中授業で実施	
・アイスブレイク ・宿泊業界の職種・仕事理解 ・就職活動について ・日本文化の理解	授業内容に応じて 自宅学習

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座 I	担当名	澤木海里/岡覚子
対象学期	前 期				
		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	パソコンの基礎的な操作ができるようになる。 日本で生活するうえで、誰とでもコミュニケーションをとれるようになる。
学習内容	①日本の伝統文化を大切にするホテルに勤務し、現場で培った実務経験をもとに、ホテルビジネスに必要な知識と技能を指導する。特に、接客の基本となる挨拶マナーを中心に、社会人として求められる立ち居振る舞いや心構えについて教授する。 ②ホテル業界での経験と教職の知識を生かし、基礎から将来に役立つ技能を丁寧に教授する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする
履修に当たっての留意点	パソコンを忘れずに持ってくる。 ボールペンや鉛筆、消しゴムを持ってくる。 服装はジャージやスウェットで来ないこと。 髪型は整えてくること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	パソコン演習①・導入教育の続き	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
2	パソコン演習②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	パソコンの課題10点
3	パソコン演習③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
4	パソコン演習④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	パソコンの課題10点
5	パソコン演習⑤	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
6	パソコン演習⑥	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	パソコンの課題10点
7	日本語練習① 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
8	日本語練習② 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	履歴書の資格欄を書く 課題10点
9	日本語練習③ 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
10	特定技能演習① 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
11	特定技能演習② 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 面接の質問に対する答えを 考える課題10点
12	履歴書作成・志望動機・自己PR 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
13	履歴書作成・志望動機・自己PR 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 履歴書作成課題10点
14	身だしなみマナー③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
15	身だしなみマナー④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座Ⅱ	担当名	澤木海里/岡覚子
対象学期	後 期		(講義) ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	就職・進級するために必要な日本語力・コミュニケーション力・ICT力を身に着ける。
学習内容	①日本の伝統文化を大切にするホテルに勤務し、現場で培った実務経験をもとに、ホテルビジネスに必要な知識と技能を指導する。特に、接客の基本となる挨拶マナーを中心に、社会人として求められる立ち居振る舞いや心構えについて教授する。 ②ホテル業界での経験と教職の知識を生かし、基礎から将来に役立つ技能を丁寧に教授する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする
履修に当たっての留意点	パソコンを忘れずに持ってくる。 ボールペンや鉛筆、消しゴムを持ってくる。 服装はジャージやスウェットで来ないこと。 髪型は整えてくること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	身だしなみマナー⑤	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
2	身だしなみマナー⑥	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 課題点10点
3	社会人・進級に向けて①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
4	社会人・進級に向けて②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
5	社会人・進級に向けて③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
6	社会人・進級に向けて④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
7	社会人・進級に向けて⑤	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
8	社会人・進級に向けて⑥	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
9	社会人・進級に向けて⑦	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
10	社会人・進級に向けて⑧	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
11	社会人・進級に向けて⑨	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
12	卒業に向けて①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
13	卒業に向けて②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
14	卒業に向けて③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
15	卒業に向けて④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科				
対象学年	1 学年	科目名	実習・就職対策講座Ⅰ	担当名	澤木海里/岡覚子
対象学期	前 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	日本で働くための基礎的な準備を行う。あいさつ・ルール・時間厳守などの社会人行動、仕事で使うやさしい日本語、日本の会社の考え方を学び、自分がどんな仕事をしたいか、なぜ働きたいかを日本語で説明できる力を身につける。
学習内容	①日本の伝統文化を大切にするホテルに勤務し、現場で培った実務経験をもとに、ホテルビジネスに必要な知識と技能を指導する。特に、接客の基本となる挨拶マナーを中心に、社会人として求められる立ち居振る舞いや心構えについて教授する。 ②ホテル業界での経験と教職の知識を生かし、基礎から将来に役立つ技能を丁寧に教授する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A — 4. 0 90点～100点 B — 3. 0 80点～89点 C — 2. 0 70点～79点 D — 1. 0 60点～69点 E — 出席不良 F — 0. 0 59点以下（不合格） ※定期試験は課題提出とする
履修に当たっての留意点	パソコンを忘れずに持ってくる。 ボールペンや鉛筆、消しゴムを持ってくる。 服装はジャージやスウェットで来ないこと。 髪型は整えてくること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	自己紹介 非言語コミュニケーション① 身だしなみのルール①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
2	非言語コミュニケーション② 身だしなみのルール②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	身だしなみ理解度チェック課題10点
3	身だしなみマナー①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
4	身だしなみマナー②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 身だしなみ自己採点&他己採点 課題10点
5	履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
6	履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	身だしなみ自己採点&他己採点課題10点
7	日本語練習① 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
8	日本語練習② 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	履歴書の左側を提出課題10点
9	日本語練習③ 履歴書作成・志望動機・自己PR	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
10	特定技能演習① 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
11	特定技能演習② 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 感想文を書いてもらう課題10点
12	履歴書作成・志望動機・自己PR 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 夏休み課題10点(履歴書の右側)
13	履歴書作成・志望動機・自己PR 面接練習	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
14	身だしなみマナー③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
15	身だしなみマナー④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ

対象学科	ホテル・ウェディングビジネス科		
対象学年	1 学年	科目名	実習・就職対策講座Ⅱ
対象学期	後 期	講義・演習・実技・実習	担当名 澤木海里/岡寛子
		単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	日本での仕事・生活に必要な「あいさつ・報連相・時間管理・身だしなみ・コミュニケーション」などを身につける。
学習内容	①日本の伝統文化を大切にするホテルに勤務し、現場で培った実務経験をもとに、ホテルビジネスに必要な知識と技能を指導する。特に、接客の基本となる挨拶マナーを中心に、社会人として求められる立ち居振る舞いや心構えについて教授する。 ②ホテル業界での経験と教職の知識を生かし、基礎から将来に役立つ技能を丁寧に教授する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は課題提出とする
履修に当たっての留意点	パソコンを忘れずに持ってくる。 ボールペンや鉛筆、消しゴムを持ってくる。 服装はジャージやスウェットで来ないこと。 髪型は整えてくること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	身だしなみマナー⑤	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ
2	身だしなみマナー⑥	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	リクルートスーツ 課題点10点
3	社会人・進級に向けて①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
4	社会人・進級に向けて②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
5	社会人・進級に向けて③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
6	社会人・進級に向けて④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
7	社会人・進級に向けて⑤	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
8	社会人・進級に向けて⑥	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
9	社会人・進級に向けて⑦	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
10	社会人・進級に向けて⑧	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
11	社会人・進級に向けて⑨	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
12	卒業に向けて①	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
13	卒業に向けて②	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点
14	卒業に向けて③	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	
15	卒業に向けて④	・スケジュールがわかるツール ・パソコン ・ボールペン、鉛筆、消しゴム	課題点10点